

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	鼠径部ヘルニア嵌頓における嵌頓腸管内容 CT 値の有用性
当院の研究責任者	外科 田中 穰
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	鼠径部ヘルニア嵌頓の用手整復や腸切除の適応に関する術前評価因子を明らかにすること。
調査データ 該当期間	2005年1月から2018年12月末日
研究の方法 (使用する資料等)	鼠径部ヘルニアのうち小腸嵌頓例を腸切除例と非腸切除例に分け、用手整復や腸切除の適応に関して有用な因子が何かを検討した。検討項目は血清CRP値、腹部単純CT所見などで、特に嵌頓腸管内容CT値の有用性が見いだせた。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	特にありません。
お問合せ先	0598-51-2626 外科 田中 穰